

2月14日

## 2年C組研究授業

### 楽しく学ぶ姿を公開しました



今年度研究授業が行われました。2年C組の英語の授業です。研究という言葉からすると、生徒が実験に利用されている感がありますが、研究は教師サイドのこと。指導方法や授業の進め方が生徒たちにとって効果的なものであったかということ进行研究します。生徒たちはいつものように、生き生きととして楽しく授業を進めていくのです。

この日の授業は比較級と最上級について学ぶものでした。しかし、それらを一から学ぶではありません。それまでの授業で身につけた比較級最上級の力を駆使して、コミュニケーションを大切にしながら自分の考えを伝える授業です。

旅行会社の社員になり、客の要望に合ったホテルを提案することが学習活動です。生徒たちはペアで、一人が旅行者、一人が客役を演じ、会話を進めました。どの生徒もホテルの特徴を英語で表現することに集中したり、客として素直に要望を出したりして、微笑ましく会話を進めていました。



そんな中で感心したのが、言いたくてもどのように表現してよいかわからないと素直に質問できる生徒がいたことです。

「(そのホテルでは) 何の食べ物が食べられますか。」

(What food can I eat at ~hotel?)

「(ホテルを選ぶ上で) あなたの大切なことは何ですか。」

(What are important things to you?)



日本語で言うのは簡単なこのような内容を、英語ではどのように表現するかがわかることが、会話をより充実させることにつながります。「伝えたいけどその伝え方がわからない」という気持ちに素直になり、英語の表現を求めるこうした生徒たちの姿こそ、主体性そのものだと感じました。比較級や最上級の表現の定着も、こうした主体的な姿があれば確実なものになるでしょう。

